

平成15年度当初予算の概要

市民生活に密着した 骨格予算に

会計別予算総括表

単位：千円

区 分	15年度当初予算額	14年度当初予算額	伸率(%)
一 般 会 計	19,848,715	22,182,612	10.5
特 別 会 計			
国民健康保険	5,603,213	5,679,615	1.3
介護保険			
保険事業勘定	3,993,974	3,325,957	20.1
サービス勘定	660,688	645,801	2.3
老人保健	5,981,375	6,575,894	9.0
温泉開発	12,436	18,105	31.3
奨学資金	29,574	30,708	3.7
売却市場	21,962	40,892	46.3
土地取得	12,302	12,683	3.0
都市計画	423,984	891,919	52.5
下水道	970,652	1,637,407	40.7
農業集落排水	164,680	263,408	37.5
公営駐車場	47,629	48,418	1.6
急患センター	41,288	44,686	7.6
小 計	17,963,757	19,215,493	6.5
財産区			
上川沿	2,528	810	212.1
下川沿	31	67	53.7
片山	13,879	14,294	2.9
川口	829	987	16.0
餅田	591	661	10.6
立花	1,848	1,798	2.8
計	17,983,463	19,234,110	6.5
企業			
病院	7,693,180	7,583,058	1.5
水道	1,972,903	2,033,416	3.0
工業用水道	53,952	45,461	18.7
計	9,720,035	9,661,935	0.6
合 計	47,552,213	51,078,657	6.9

予算総額は

475億5221万3千円

一般会計の予算規模は

198億4871万5千円

平成15年度当初予算が市議会3月定例会で可決され、成立しました。

今年度の当初予算は、今月予定されている統一地方選挙を踏まえ、骨格予算としました。骨格予算とはいっても、市民サービスが低下したり市政の停滞があったりしてはなりません。そのため、市民生活基盤に係わるものや扶助費など義務的経費は通常ペースとするとともに、学校改築や道路整備、少子高齢化対策など将来を見据えた事業に対しても計画的に対処しました。また、第2次行政改革大綱に基づき、経費全般にわたって徹底した節減と補助金・負担金などの整理合理化に努めました。

ここでは、予算全体の概要と主な事業についてお知らせします。

一 般 会 計

歳 入

財源の根幹をなす市税は、固定資産税の評価替えにより、前年度と比べ2億5911万9千円の減となりました。

また、地方交付税では、国の財政状況が悪化していることから算定方式の見直しなどが行われており、前年度と比べ率で7.8%、額で5億6305万3千円と昨年度に引き続き大幅な減を見込んでいます。

なお、財源不足に相当する分として今年度も臨時財政対策債の12億5千万円を財源に組み入れました。

歳 出

骨格予算ということで、歳出総額は前年度に比べ23億3389万7千円の減となりました。

特に、投資的経費は、7月下旬の完成を目指している城西小学校改築事業など市民生活に直結し緊急を要する事業のみとした結果、前年度と比べ、率で52.8%、額で20億4946万1千円の減となりました。政策経費は補正予算で計上される予定です。